

四日市市の子どもたちの 学力・学習状況や生活状況は？

四日市市教育委員会

1 全国学力・学習状況調査について

文部科学省は、小学校6年生と中学校3年生を対象として、学力と学習状況を調査しています。

今年度は、4月19日（火）に実施されました。調査内容は、以下の通りです。

調査	調査内容
学力調査	小学校：国語、算数、理科 中学校：国語、数学、理科
学習状況調査 「児童生徒質問紙調査」	子どもたちの生活や学習などの意識



【個人票のイメージ】

2 四日市市の子どもたちの学力について

本市の学力調査結果は、すべての調査において、全国平均以上または同等の結果でした。

小学校では、理科において全国平均を上回りました。国語、算数ともに、全国と同等の結果となりました。また、中学校では、数学において全国平均を上回りました。国語、理科は全国と同等の結果となりました。

小学校		国語	算数	理科
	本市	66	63	65
三重県	65	62	63	
全国(公立)	65.6	63.2	63.3	
中学校		国語	数学	理科
	本市	69	52	49
三重県	68	52	48	
全国(公立)	69.0	51.4	49.3	

※文部科学省は、微小な差異は点数的に学力の違いを示すものではないことから、本市と三重県の平均正答率を整数値で示しています。

学力向上には学校・家庭・地域の連携が重要です！

学校では、問題解決的な授業づくりを基にして、各教科等において育成する資質・能力を身に付けることができるよう、授業改善をすすめています。学校での学びが日常生活につながり、家庭・地域での経験が学校生活に生かせるよう、学校・家庭・地域が連携して、子どもを育てていきましょう。



四日市市の子どもたちは？ ～学力・学習状況調査から～

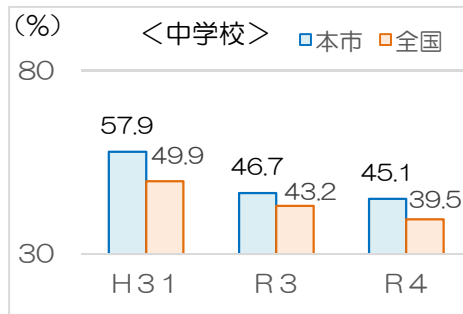
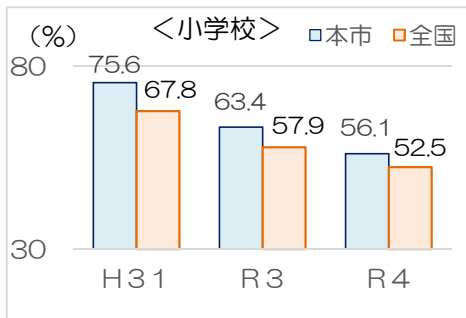
3 生活状況について



全国と比べるとここがすてき！

- 家で自分で計画を立てて勉強をしている。 ○人が困っているときは、進んで助けている。
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思っている。
- 今住んでいる地域の行事に参加している。

＜今住んでいる地域の行事に参加していると肯定的に回答した児童生徒の割合＞



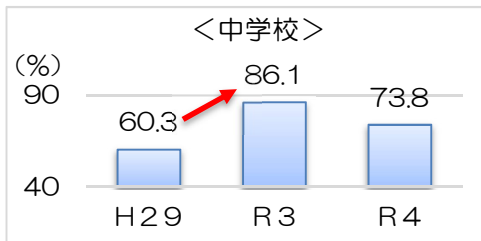
コロナ禍となり、全国的にも地域行事に参加することが難しい傾向にあります。本市の子どもたちは、全国と比べて地域行事に参加している割合が高いことがわかります。

ふるさと四日市を大事にする子どもに

四日市市では、ふるさと四日市に誇りと愛着を持ち、持続可能な社会の一翼を担う人材を育成するための教育を推進しています。自分の住んでいる地域の行事に参加することは、自分の地域を知り、地域で自分ができることを考えるよい機会となります。

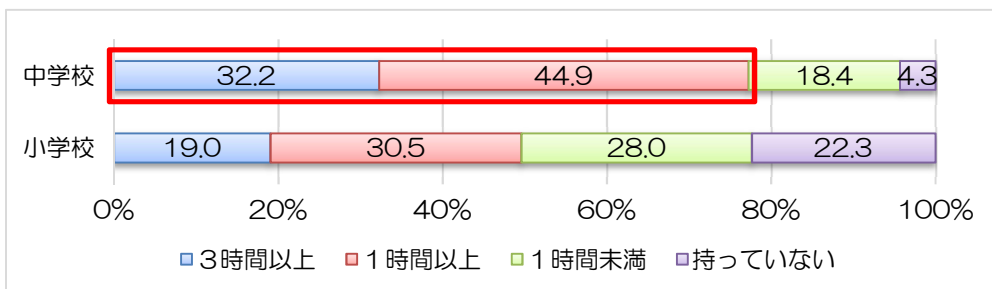
子どもたちの家での過ごし方の変化

① 普段（月曜日から金曜日）、テレビゲームを1日に1時間以上している児童生徒の割合



「1日に1時間以上テレビゲームをしている」児童生徒の割合が、H29から大幅に増えています。

② 普段（月曜日から金曜日）、SNSや動画視聴などを1日にしている時間



「1日に1時間以上SNSや動画視聴をしている」中学生の割合が約8割いることがわかります。

携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について

インターネットに接続して使用するスマートフォン等は、大変便利なツールとなっています。だからこそ、インターネット利用に関するメリットとリスク、使用上の約束などについて親子で話し合い、子どもたち自身が「賢く安全に使える」ようにすることが大切です。

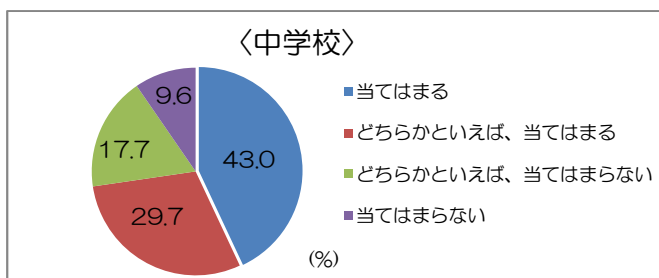
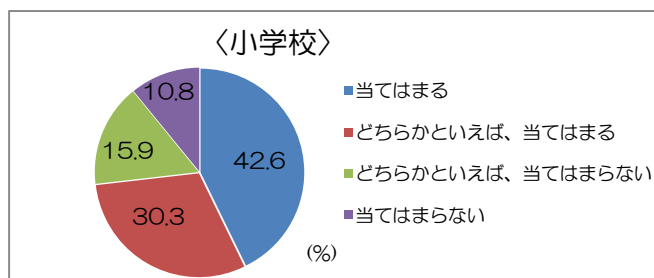
四日市市の子どもたちは？ ～学力・学習状況調査から～

4 子どもと本をつなぐ

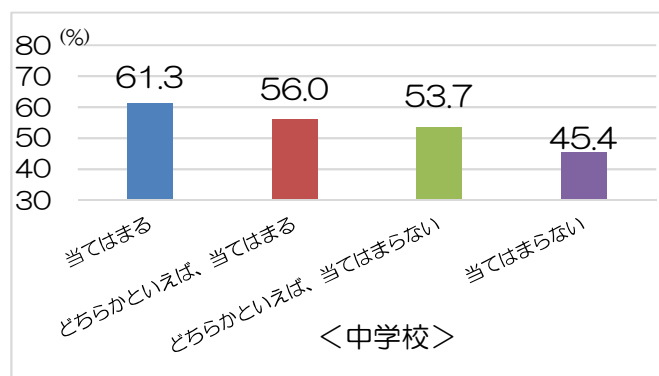
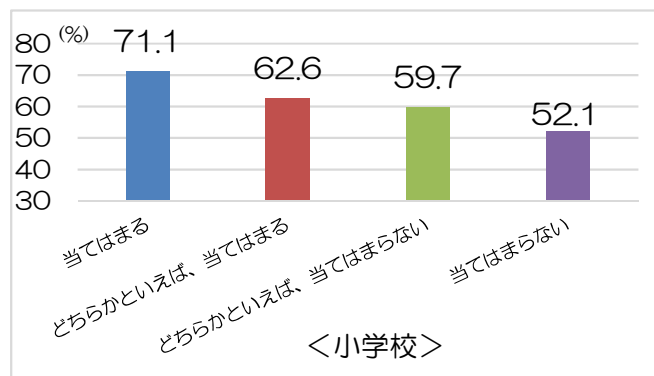


Q: 読書は好きですか。

本市では、7割を超える児童生徒が、読書が好きであると肯定的に回答しています。また、読書が好きと回答した児童生徒の方が、3教科（国語・算数/数学・理科）の平均正答率も高くなっていることが分かります。

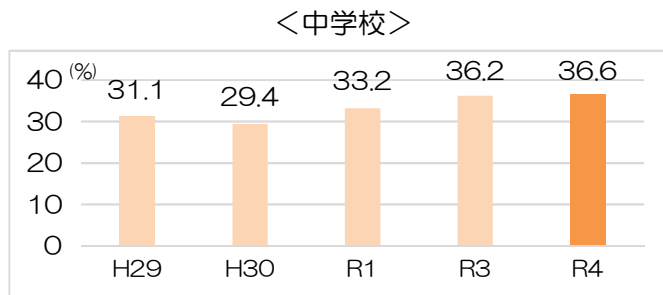
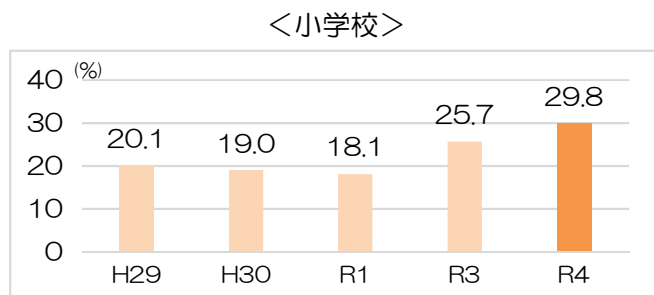


回答ごとの3教科（国語・算数/数学・理科）の平均正答率



読書は、新しい世界を知ったり、感動したり、自分なりの考えを持ったりすることにつながります。読書経験を積み重ねていく中で、感性を磨き、表現力を高めるとともに、豊かな心を育てていきます。

近年、携帯電話やスマートフォンが普及し、子どもの読書にも影響を与えている可能性があります。下のグラフは、「(学校の授業以外) 読書を全くしない」と回答した児童生徒の割合の過去5年間の推移です。



家庭においても、多くの本と出会い、読書に親しむことができるよう、以下のようなことに取り組んでみてはいかがでしょうか。

- 家族の読んだことのある本やお気に入りの本を紹介する。
- 身近に本がある環境をつくる。
- 一緒に図書館へ行く。



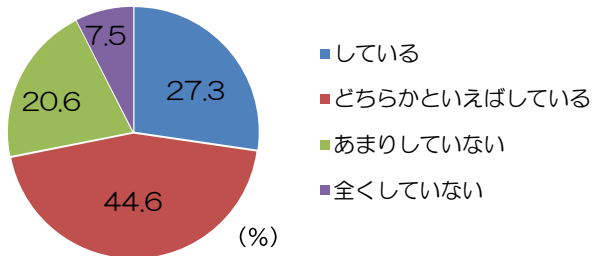
四日市市の子どもたちは？ ～学力・学習状況調査から～

5 「やらされる学習」から「自分からする学習」へ

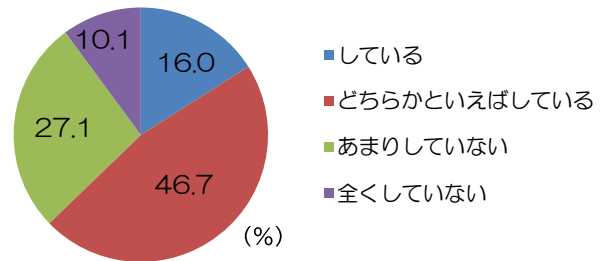


Q: 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。(学校の授業の予習や復習を含む)

<小学校>

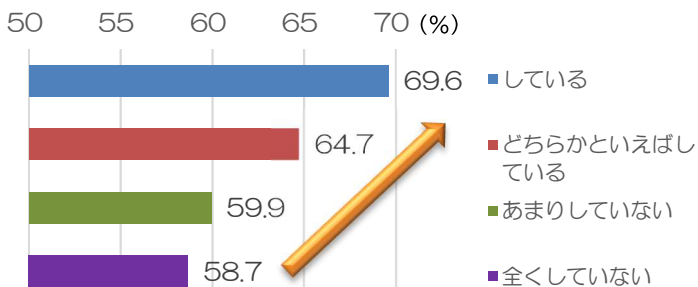


<中学校>

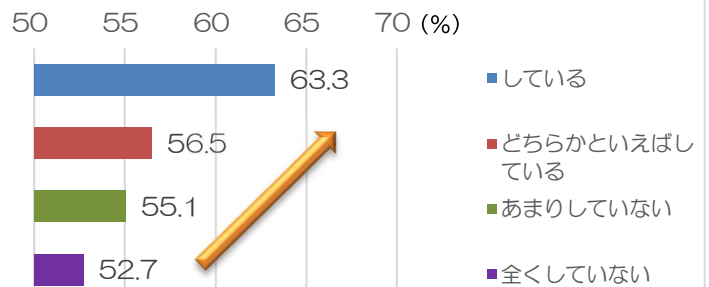


回答ごとの3教科(国語・算数/数学・理科)の平均正答率

<小学校>



<中学校>



自分で計画を立てて学習している児童生徒は、平均正答率が高い傾向が見られます。

「計画を立てて勉強する」とは？

学習の計画を立てるということは、「自分で学習する内容を決める。」ということです。人から「やりなさい。」と言われたことだけを学習するのではなく、「自分に必要な課題は何かを考え、どのように学習を進めるか見通しを持ち、自ら進んで取り組むこと」が大切です。

家庭学習において、学習用のタブレット端末を活用することで、子どもたちは自分の学習を選びやすくなります。

タブレット端末を活用した学習例

「ドリルパーク」	ドリル型学習教材で、学校で学んだ内容を復習したり、苦手なところを繰り返し学習したりすることができます。
「こにゅうどうくん 学びの部屋」	子どもが興味・関心を持った内容を調べたり、動画等を見たりしてさらに詳しく学ぶこともできます。
「学んでE-net」 (中学校のみ)	オンライン上に多くの学習プリントが掲載されており、解説動画をみながら、予習・復習することができます。

四日市市学習ポータルサイト
こにゅうどうくん 学びの部屋



お子様が、自ら進んで学習の計画を立てていけるよう、ご家庭でもご協力をお願いいたします。

【お問い合わせ】四日市市教育委員会 指導課 TEL 059-354-8255